

「コロナ感染症でお亡くなりになられた葬送」

コロナ感染症にて お亡くなりになられた場合 非透過性納体袋に収納し そのまま入棺して火葬場へ出棺する （お顔を見られない） という 流れを思われている方々が多いことでしょう。しかし 弊社は この2年半以上 コロナ感染症にて お亡くなりになりました（死亡時PCR検査結果：悲しくも陽性者の方）：令和4年11月29日 現在 173体「国交省北海道運輸局函館運輸支局提出書類＝（貨物自動車運送事業実績報告書 記載） コロナ感染症 葬送儀式を施行させていただきました 「上記には 感染疑いでお亡くなりの方・PCR検査結果が搬送時に不明の方・いまだ体内からコロナウィルスが消えていないと思われる方々」は含まれておりません

また 弊社は 国のガイドライン遵守（防護服着用 消毒 殺菌 ご遺体防腐処置施行）により感染拡大のリスクを最大限抑えることを最優先に施行してきたところです これらの処置にて弊社では 安全 安心な 環境での 「愛してやまない 故人様」との ゆっくりとした 「拜顔」＝（顔を見られる環境）や（故人様のゆかしき品の入柩など）お別れの時間を過ごしていただくことができました

弊社では 日々 最新コロナ感染症対策の情報収集を行い さらに 24時間 コロナ感染症担当専属看護師を在任いたしております また ご遺族様の防護服類や非透過性納体袋（透明）の在庫管理や ご遺体を安置する専用安置室など 今現在 考えられるコロナ感染症に関する体制を整えてまいりました 弊社の「想い」は 故人様の尊厳 残された ご遺族様がこころ残りのないような お弔いができますようにと・・・しかしながら コロナ渦の規制はございますが「悔いがないような」最期のひとときを お手伝いできるような 環境を想定し 悲しくもコロナ感染症にて ご逝去された故人様と ご遺族様の「弔い」葬送のお手伝いを真摯に向き合ってきた この2年半以上でした・・・

また 昨今 クラスターにて 死後 PCR検査の結果が確認されていないご遺体はコロナ感染症に感染している可能性があります これらの事案のため ご遺体搬送時には 常に感染症のリスクと隣り合わせであるという認識で 現在も「尊い」ご遺体と向き合っています

さらに 弊社は 二次感染防止の為 医療機関や介護施設などへの搬送従事（役員専属者）には 毎日の検査を徹底しております

今後も弊社と いたしましては コロナ感染症 施行 当初からの変わらぬ「感染拡大防止」対策などを行い 最新の情報収集を踏まえ ご遺族様が「安全 安心」な環境での「お弔い」の葬送儀式を施行してゆきます」